

職場体験学習



7月22日(月)～26日(金)の5日間、中学3年生の職場体験学習がありました。実際の体験で、働くことの厳しさややりがいなどを感じ取ることができたようです。将来就きたい職業を選択した生徒は、その魅力を再発見し、さらに意欲が高まったでしょうし、そうでない生徒も視野を広げるきっかけにもなったと思います。「働くこと」＝「自己実現」であり、「社会貢献」でもあることを今回の学習を通して学べたのではないのでしょうか。



ある隊員さんに「やりがい」について話を聞き、その方の信念に心を動かされました。「働く」には強い信念が必要だと気づきました。大切なことを教えてくれた隊員さんのような大人になりたいです。

山村 蓮 (桜の聖母学院小学校出身)



子どもたちというと、心が洗われたような気がしました。少し大変だったこともありましたが、すべてが幸せに感じました。私は「先生で良かった」と思ってもらえるような先生になります。

桑折 侑菜 (相馬郡飯館村立飯樋小学校出身)



自分の名刺を作り、職員の方と名刺交換したことで少し大人びたような感覚を持ちました。青年海外協力隊の方の話聞き、発展途上国の教育や医療についても深く考える機会となりました。

山田 恵理 (福島市立岡山小学校出身)



医師といっても様々な職種があり、チームで支え合って活動しているということを改めて知ることができました。私は今後、医師になる夢を叶えるため、日々勉強に励んでいきたいと思っています。

服部 ひなた (白石市立越河小学校出身)

臨海教室～IN 茨城県大洗町～

7月23日(火)～25日(木)に中学1年生の臨海教室が実施されました。泳力別に編成されたグループで、互いの安全を確認し合いながら活動することができました。レスキュー訓練では「命」について深く考え、身近な人が突然倒れた際に「力になれる自分」になれるように、一生懸命に心肺蘇生法を練習しました。また、海という自然を満喫したことは言うまでもありません！生徒たちのいきいきした表情や感想を一部ご紹介します。

沖プイタッチでは、足がつかなくとも怖かったです。しかし、B級のみんがが応援してくれて、何とか達成することができ、嬉しくて泣いてしまいました。応援の力、仲間との絆を感じることができた3日間でした。

菅野 はるか (福島市立福島第一小学校出身)

遠泳の時に、B・C級の全員が応援してくれました。見事にA級全員で遠泳を達成でき嬉しかったです。私はこの臨海教室を通して、人との助け合いや仲間の大切さを知ることができました。

佐藤 千駿 (桜の聖母学院小学校出身)

私は今回の臨海教室で自分の至らない点がたくさんあることに気づくことができました。最終日にはそれらを踏まえて行動することができました。今後の生活に生かしていきたいです。

鈴木 雄大 (新潟市立万代長嶺小学校出身)

臨海教室に行く前より、海を好きになれたと思いました。怖がっているばかりでは何も始まらないと、海に教えられた気がしました。困難なことに立ち向かう大切さも教わりました。

國分 桃 (郡山市立大成小学校出身)

